

# 第69回日本PTA全国研究大会 第66回日本PTA九州ブロック研究大会北九州大会

# 北九州大会

## 大会趣旨

私たちを取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しています。さらに昨今は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、新しい生活様式を求められるなど、誰も想像しなかった環境の中に臨むこととなりました。

しかし、今後どのような環境の変化が訪れたとしてもその中で子供たちは成長し続けています。その時々柔軟に対応するには生きる力を身に付けること、そして心身の成長と自立のため、家庭、学校、地域が一緒になって積極的に子育てをおこなっていく共育が更に重要になります。

これまで全国大会は、昭和28年（1953年）に第1回の大会が三重県宇治山田にて開催されて以降、一昨年の兵庫大会まで毎年途切れることなく開催されてきました。毎年各地で開催される全国大会は、会員に対する大きな成果を生み出し、家庭、学校、地域にポジティブな変化を起こしてきましたが、昨年の富山大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け止む無く中止となりました。このような状況下で開催する本大会は、参加される会員の皆様にとって、PTA活動への更なる意識の高揚と、各地域が抱える様々な問題を解決するための鍵を見つけ出す絶好の機会ととらえています。コロナ禍において多くの事業が中止をされている困難な状況の中にあっても、私たちが学びの歩みを止めるわけにはいかないのです。

明治維新以降、日本の多くの産業がこの地で生まれ、その後深刻な公害問題など様々な困難を経験し、現在では世界に羽ばたく環境未来都市となった北九州市。2018年6月にSDGs（持続可能な開発目標）未来都市に指定され、気持ちも新たに、家庭、学校、地域が一体となり、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という思いを共有し、日々の活動に取り組んでいるところです。

その北九州市にて開催される本大会で、「じりつ」、「創造」、「尊重」、「調和」から生まれる素晴らしい未来をめざして、私たちPTAは学び合い、語り合って協働し、心から笑い合い、成長し続けるPTA活動に挑戦していきましょう。

昨年度、中止になった富山大会の熱い想いを引き継ぎ大人の学びを実践し、北九州市から日本全国へ、笑顔とエールを発信します。

※「じりつ」とは＝自分を立たせ（自立）、律する（自律）人間をめざす。

※「共育」とは＝ともに学び成長すること